

## 新潟大学医学部放射線医学教室 業績 和文論文 1989年～1978年

### ----1989----

1. 稲越英機、斎藤眞理、酒井邦夫、樋口健史、杉田公、北村達夫：非ホジキンリンパ腫の基礎と臨床—画像診断と放射線治療の立場から、新潟医学会雑誌 103：75-79, 1989
2. 小田純一：画像診断—Computed Radiography の進歩—、新潟医学会雑誌 103：149-152, 1989
3. 木村元政：画像診断—循環器領域のMRI 診断の進歩—、新潟医学会雑誌 103：157-161, 1989
4. 小田野幾雄：画像診断—核医学画像診断の進歩脳血流シンチ SPECT—、新潟医学会雑誌 103：171-175, 1989
5. 荒井誠、小田野幾雄、木村元政、樋口正一、西原眞美子、酒井邦夫、他：島津頭部用 SPECT 装置 HEADTOME SET-050 の基礎的検討、新潟核医学懇話会記録集 10：16-19, 1989
6. 林浩子、小田野幾雄、西原眞美子、樋口正一、酒井邦夫、ほか：Parkinson 病の 123I-IMP SPECT による臨床的検討、新潟核医学懇話会記録集 10：20-25, 1989
7. 酒井邦夫：放射線治療による二次癌発生のリスク、医学のあゆみ 148：661, 1989
8. 小田純一、秋田眞一、島田克己、岡本浩一郎、酒井邦夫：肺癌集団検診の比較読影段階における見落とし例の検討、肺癌 29：271-278, 1989
9. 小田野幾雄：脳梗塞と脳出血の 123I-IMP SPECT による診断—rCBF 測定と再分布現象の意義—、臨床放射線 34：667-673, 1989
10. 椎名真、伊藤猛、木村元政、酒井邦夫、内山昌則、福田剛明：読影講座 これをどうよむか(胎児型嚢胞腎)、画像診断 9：357-362, 1989
11. 近藤まり子、横山恵美子、岡本浩一郎、登木口進、伊藤寿介：水晶体脱臼の CT 所見、CT 研究 11：602-604, 1989
12. 佐藤玲子、椎名真、酒井邦夫：MRI による耳下腺内顔面神経描出のための基準線、日本医学放射線学会雑誌 49：774-776, 1989
13. 秋田眞一、小田純一、岡本浩一郎、酒井邦夫、島田克己：新潟市における肺癌住民検診—5年間の成績と問題点の分析、日本胸部臨床 48:543-546, 1989
14. 林浩子、小田野幾雄、西原眞美子、樋口正一、酒井邦夫、他：123I-IMP single photon emission computed tomography (SPECT) による Parkinson 病の臨床的検討、核医学 26：1405-1415, 1989
15. 酒井邦夫：胃集検の対象年齢(質疑)、日本医事新報 No3400：131, 1989
16. 酒井邦夫、日向浩、藤田勝三：UFT 経口投与における腫瘍細胞動態の変化、関越 UFT 研究会講演集 65-68, 1989
17. 栢森亮：糖化低比重リポ蛋白(GlycosylatedLDL)の代謝動態に関する基礎的研究、核医学 26：1513-1521, 1989
18. 西原眞美子、林浩子、加村毅、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：Parkinson 病の 123I-IMP SPECT—delayed image の検討—、パーヒューザミン研究会記録集 5：59-62, 1989
19. 小田野幾雄：時間との対話、北日本核医学談話会記録集 2：41-44, 1989
20. 田辺恭彦、木村元政、他：右房内血栓を合併した結核性収縮性心膜炎の 1 治験例、心臓 21：1158-1163, 1989
21. 岡本浩一郎：頭部画像診断における基準線の検討(前編) セファログラムでの検討、日本医学放射線学会雑誌 49(3)：259-263, 1989
22. 岡本浩一郎：頭部画像診断における基準線の検討(後編) 磁気共鳴画像(MRI)での検討、日本医学放射線学会雑誌 49(3)：264-269, 1989
23. 登木口進、横山恵美子、伊藤寿介：Thin-section CT と high-dose delayed scan の併用による脳幹被蓋微小梗塞巣の描出、神経内科 31(2)：227-229, 1989

### ----1988----

1. 椎名真、酒井邦夫：X線写真の読影(18)腎・副腎、日本医事新報ジュニア版(269)：18、20-21, 1988
2. 椎名真、酒井邦夫：X線写真の読影(完)骨盤腔、日本医事新報ジュニア版(270)：18、20-21, 1988
3. 木村元政、山岸広明、清野泰之、小田野幾雄、酒井邦夫、他：左室拡張期指標に及ぼす心拍数の影響、核医学 25(1)：1-8, 1988
4. 木村元政：心拍同期・非同期心プール SinglePhotonEmissionComputedTomography による左室拡張末期容積算出に関する基礎的ならびに臨床的検討、核医学 25：493-503, 1988
5. 酒井邦夫、稲越英機、斎藤眞理、杉田公：非小細胞肺癌に対する 1日2回(BID)照射の試み、放治システム研究 Suppl. 5：188-190, 1988

6. 廣野達彦、小田純一、他：末梢肺腺癌のレ線学的、細胞診学的及び病理学的検討—肺腺癌の早期発見をめざして—、日本臨床細胞学会新潟支部会報(2)：1-15, 1988
7. 小田野幾雄、土屋俊明、酒井邦夫、伊藤寿介：虚血性脳血管障害における I-123 IMP 脳血流シンチの再分布現象の臨床的意義—rCBF との関係、核医学 25：789-799, 1988
8. 小田野幾雄、武田正之、木村元政、酒井邦夫：神経芽細胞腫の診断における 131I meta-iodobenzylguanidine (131I-MIBG) シンチの臨床的意義、日本医学放射線学会雑誌 48：623-632, 1988
9. 藤田勝三、日向浩、酒井邦夫：UFT 経口投与後の実験腫瘍内 5-FU 濃度の推移と細胞動態、日本医学放射線学会生物部会誌 1：32-34, 1988
10. 酒井邦夫、斎藤真理、稲越英機：放射線治療後における二次発癌—とくに乳癌について、乳癌の臨床 3：523-531, 1988
11. 稲越英機：上咽頭癌の放射線治療—組織型および進行度からみた至適治療法—、日本医学放射線学会雑誌 48：1142-1152, 1988
12. 野口栄吉、木村元政、小田野幾雄、他：DPA による腰椎の骨塩量の基礎的検討、新潟核医学懇話会記録集 8：8-9, 1988
13. 樋口正一、小田野幾雄、他：肝に病変をみたサルコイドーシスの一例、新潟核医学懇話会記録集 8：10-11, 1988
14. 小田野幾雄、小山晃、清野泰之、木村元政、酒井邦夫、他：123I - IMP SPECT にて血流改善を証明しえた中大脳動脈閉塞の 1 例、新潟核医学懇話会記録集 8：12-13, 1988
15. 杉田公、小田野幾雄、酒井邦夫：甲状腺癌の 131I 療法の治療経験、新潟核医学懇話会記録集 8：20-22, 1988
16. 島田克己：がん集団検診の現況と問題点—肺がん—、新潟医学会雑誌 102：667-670, 1988
17. 清野泰之、小田野幾雄、木村元政、酒井邦夫、他：123I-IMP SPECT 脳血流シンチより算出した脳血流量の分析—ヘマトクリット値、PaO<sub>2</sub>、PaCO<sub>2</sub> との関係—、新潟核医学懇話会記録集 9：12-14, 1988
18. 椎名真：球後部潰瘍—X 線消化性潰瘍—、臨床と基礎 7：4-8, 1988
19. 酒井邦夫：放射線防護上の撮影枚数制約(質疑)、日本医事新報 (3334)：143, 1988
20. 上田宏之、稲越英機、他：当院における 8 年間の腔内照射(RALS)を行った症例の検討、日本産科婦人科学会新潟地方部会誌 50：17-21, 1988
21. 小田野幾雄、酒井邦夫：99mTc-HMPAO による脳血流シンチグラフィ、INNERVISION3(6)：48-52, 1988
22. 登木口進、岡本浩一郎、伊藤寿介、他：脳表に局限した small astrocytoma、神経内科 29(3)：331-333, 1988
23. 登木口進、岡本浩一郎、伊藤寿介、他：Pendred 症候群にみられた前庭水管拡張、CT 研究 10(6)：717-720, 1988

——1987——

1. 木村元政、酒井邦夫：X 線写真の読影(8)先天性心疾患、日本医事新報ジュニア版(259)：17-18、20-21, 1987
2. 木村元政、酒井邦夫：X 線写真の読影(9)後天性心疾患、日本医事新報ジュニア版(260)：17-18、20-21, 1987
3. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(10)食道、日本医事新報ジュニア版(261)：18、20-21, 1987
4. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(11)胃、日本医事新報ジュニア版(262)：17-18、20-21, 1987
5. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(12)十二指腸・小腸、日本医事新報ジュニア版(263)：18-20, 1987
6. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(13)大腸、日本医事新報ジュニア版(264)：18、20-21, 1987
7. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(14)急性腹症、日本医事新報ジュニア版(265)：18、20-21, 1987
8. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(15)肝・胆道(その 1)、日本医事新報ジュニア版(266)：18、20-21, 1987
9. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(16)肝・胆道(その 2)、日本医事新報ジュニア版(267)：18-20, 1987
10. 椎名真、酒井邦夫：X 線写真の読影(17)脾・脾、日本医事新報ジュニア版(268)：18、20-21, 1987
11. 大塚英明、小田野幾雄、木村元政、酒井邦夫、他：99mTc-MAA 肺血流シンチグラムを用いた心臓カテーテル検査後の肺塞栓の検討、呼吸と循環 35(1)：105-111, 1987
12. 篠崎達世、酒井邦夫、他：北日本 7 県及び茨城県の環境放射線と小児人口動態統計の概要、日本医学放射線学会雑誌 47(3)：515-523, 1987
13. 土屋俊明、小田野幾雄、酒井邦夫、他：脳腫瘍の経時的 123I-IMP image と腫瘍血流の関係、核医学 24(3)：309-313, 1987
14. 小田野幾雄：核医学診療における最近の進歩—脳血流イメージング—、新潟県放射線技師会報(38)：2-11, 1987
15. 小田野幾雄：123I-IMP による脳血流シンチグラフィと局所脳血流側定、新潟核医学懇話会記録集 6：21-29, 1987

16. 土屋俊明、小田野幾雄、酒井邦夫、他：123I-IMP 動注法による脳腫瘍のダイナミックシンチグラフィ(81mKr 動注法との比較)、新潟核医学懇話会記録集 6 : 30-33, 1987
17. 杉柳勇、木村元政、小田野幾雄：コンピュータ利用によるシンチカメラの Quality Control について、新潟核医学懇話会記録集 6 : 34-36, 1987
18. 大塚英明、木村元政、他：運動負荷心プルスキャンによる PTCA の効果判定、新潟核医学懇話会記録集 6 : 37-39, 1987
19. 山本朋彦、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫：Factor analysis による左室壁運動の評価、新潟核医学懇話会記録集 6 : 40-42, 1987
20. 津田隆志、木村元政、小田野幾雄、他：冠動脈疾患における運動負荷タリウム心筋シンチグラフィの Washout Ratio 解析の臨床的意義、新潟核医学懇話会記録集 6 : 43-46, 1987
21. 野口栄吉、木村元政、山本朋彦、小田野幾雄、他：心臓動態ファントムを用いた駆出率算出精度の検討、新潟核医学懇話会記録集 6 : 47-50, 1987
22. 武田正之、木村元政、他：冠動脈用カテーテルを用いた経皮的腎血管形成術の 1 例、臨床泌尿器科 41 (4) : 323-325, 1987
23. 小田野幾雄、土屋俊明、酒井邦夫：脳血管障害における 123I-IMP 脳血流シンチグラフィの再分布の意義、第 2 回パーヒューザミン研究会記録集 : 55-58, 1987
24. 西原眞美子：胸腺の CT 像 第 1 編—正常像—、日本医学放射線学会雑誌 47 (6) : 799-803, 1987
25. 西原眞美子：胸腺の CT 像 第 2 編—胸腺腫瘍性病変の診断—、日本医学放射線学会雑誌 47 (6) : 804-802, 1987
26. 小田野幾雄：核医学診療における最近の進歩—脳の核医学を中心に—、新潟県医師会報 (447) : 1-9, 1987
27. 小田野幾雄：脳の核医学診療における最近の進歩、放射線科専門医会ニュース (4) : 9-13, 1987
28. 津田隆志、木村元政、小田野幾雄、他：タリウム 2 回投与方法による非観血的冠予備能測定法の検討、核医学 24 (7) : 927-931, 1987
29. 酒井邦夫：放射線治療と二次発がん、生命の科学第 41 回月報 3-4, 1987
30. 椎名真：腹部単純 X 線(シンポジウム「腹痛の画像診断」)、新潟医学会誌 101 (9) : 552-555, 1987
31. 島田克己、樋口正一、酒井邦夫、他：読影講座これをどうよむか(サルコイドーシス例)、画像診断 7 (9) : 1072-1076, 1987
32. 椎名真、佐藤玲子、木村元政、酒井邦夫：読影講座これをどうよむか(肝の間葉性過誤腫例)、画像診断 7 (10) : 1198-1201, 1987
33. 小田野幾雄、土屋俊明、清野泰之、酒井邦夫、他：虚血性脳血管障害における 123-I-IMP 脳血流シンチグラフィの再分布現象、第 3 回パーヒューザミン研究会記録集 : 49-52, 1987
34. 井浦敏彦、小田野幾雄、木村元政、山本朋彦、酒井邦夫、他：QUALITY GRAPH によるテクネ標識率の検討、新潟核医学懇話会記録集 7 : 9-14, 1987
35. 野口栄吉、木村元政、山本朋彦、小田野幾雄、酒井邦夫、他：心臓動態ファントムを用いた SPECT による心室容積の算出—ゲート法とノンゲート法の比較—、新潟核医学懇話会記録集 7 : 15-17, 1987
36. 山本朋彦、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：心プルスキャンによる左室容積算出—各種方法での検討—、新潟核医学懇話会記録集 7 : 18-20, 1987
37. 筒井一哉、小田野幾雄、他：131I-MIBG が集積した甲状腺髄様癌の 1 例、新潟核医学懇話会記録集 7 : 21-24, 1987
38. 小田野幾雄、土屋俊明、木村元政、酒井邦夫：99mTc-HMPAO による脳血流シンチの経験、新潟核医学懇話会記録集 7 : 34-37, 1987

——1986——

1. 西村義孝、酒井邦夫、北村達夫、日向浩、他：良性疾患の放射線治療後における発がん—第二次全国アンケート調査から、癌と化学療法 13 (4-II) : 1492-1498, 1986
2. 小田野幾雄、佐藤洋子、酒井邦夫、木村元政：Ga-67 SPECT image によるび慢性肺疾患の評価、核医学 23 (4) : 359-365, 1986
3. 横山明裕、小田野幾雄、木村元政、酒井邦夫、他：拡張型心筋症患者における 67Ga 心筋 SPECT 像の検討、核医学 23 (4) : 345-350, 1986
4. 酒井邦夫、島田克己：X 線写真の読影 (1) 総論・肺炎・肺化膿症、日本医事新報ジュニア版、(252) : 17-18、20-21, 1986
5. 島田克己、酒井邦夫：X 線写真の読影 (2) 肺結核・肺真菌症、日本医事新報ジュニア版 (253) : 18-20, 1986
6. 島田克己、酒井邦夫：X 線写真の読影 (3) 肺腫瘍(その 1)、日本医事新報ジュニア版 (254) : 18、20-21, 1986
7. 島田克己、酒井邦夫：X 線写真の読影 (4) 肺腫瘍(その 2)、日本医事新報ジュニア版 (255) : 18、20-21, 1986

8. 島田克己、酒井邦夫：X線写真の読影(5)その他の肺疾患、日本医事新報ジュニア版(256)：18、20-21, 1986
9. 島田克己、酒井邦夫：X線写真の読影(6)縦隔腫瘍、日本医事新報ジュニア版(257)：18-20, 1986
10. 木村元政、酒井邦夫：X線写真の読影(7)心大血管の画像診断、日本医事新報ジュニア版(258)：17-18、20-21, 1986
11. 酒井邦夫、小田野幾雄、椎名真：癌の成長速度と腫瘍倍加時間、臨床検査 30(11)：1198-1202, 1986
12. 津田隆志、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：肥大型心筋症の運動負荷心筋シンチにおける Washout Rate の検討、核医学 23(5)：489-494, 1986
13. 酒井邦夫、北村達夫、日向浩、他：悪性腫瘍の放射線治療後における二次発がん—第二次全国アンケート調査から、日本医学放射線学会雑誌 46(6)：811-818, 1986
14. 賈少微、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：N-Isopropyl-p-[123I]-iodoamphetamine による脳 SPECT 画像の画質改善に関する基礎的検討、Radioisotopes 35(7)：383-386, 1986
15. 岡本浩一郎、木村元政、西原眞美子、原敬治、酒井邦夫：腎 oncocytoma の 1 例、画像診断 6(8)：849-854, 1986
16. 賈少微、小田野幾雄、土屋俊明、酒井邦夫：聴覚刺激による N-Isopropyl-p-[123I]-iodoamphetamine の脳内分布の変動—局所脳血流測定の見地から、核医学 23(11)：1619-1624, 1986
17. 大滝広雄、小田野幾雄、木村元政、賈少微、酒井邦夫、他：血中扁平上皮癌関連抗原(SCC 抗原)量測定の基礎的検討、新潟核医学懇話会記録集 4：19-21, 1986
18. 小田野幾雄、賈少微、木村元政、原敬治、酒井邦夫、他：神経芽細胞腫における 131I-MIBG シンチグラフィの意義、新潟核医学懇話会記録集 4：22-25, 1986
19. 笠原敏文、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：201TI 心筋 SPECT における前処理 Filter の検討、新潟核医学懇話会記録集 4：35-38, 1986
20. 木村元政、賈少微、小田野幾雄、酒井邦夫、他：心プールシンチグラフィによる三尖弁逆流の評価、新潟核医学懇話会記録集 4：39-46, 1986
21. 小田野幾雄：肝機能検査各論肝シンチグラフィ、臨床病理臨時増刊特集(67)：162-173, 1986
22. 木村元政：日常臨床における心臓核医学の役割、新潟医学会誌 100(7)：402-411, 1986
23. 椎名真：超音波診断の現況、新潟県医師会報(439)：2-6, 1986
24. 木村元政、賈少微、小田野幾雄、酒井邦夫、他：201TI 心筋 SPECT における同心円表示法の利用、新潟核医学懇話会記録集 5：24-28, 1986
25. 津田隆志、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：冠動脈疾患における運動負荷心筋シンチグラフィの視覚的評価と定量的評価の対比検討、新潟核医学懇話会記録集 5：29-32, 1986
26. 大塚英明、小田野幾雄、木村元政、酒井邦夫、他：99mTc-MAA 肺血流シンチグラムを用いた心臓カテーテル検査後の肺塞栓の検討、新潟核医学懇話会記録集 5：57-62, 1986

——1985——

1. 小田野幾雄、木村元政、酒井邦夫、他：びまん性間質性肺炎の 67Ga-citrate による SPECT 像、臨床放射線 30(1)：83-84, 1985
2. 末山博男、酒井邦夫：腎病変を含む進行非ホジキンリンパ腫にシスプラチンが有効であった 1 症例、癌と化学療法 12(1)：144-146, 1985
3. 酒井邦夫、藤田勝三、日向浩、末山博男、佐藤洋子：分割照射における腫瘍細胞動態変化の flow cytometry による解析 I. 培養細胞についての検討、日本医学放射線学会雑誌 45(2)：393-397, 1985
4. 酒井邦夫、藤田勝三、日向浩、末山博男、佐藤洋子：分割照射における腫瘍細胞動態変化の flow cytometry による解析 II. 移植腫瘍の 1 回照射についての検討、日本医学放射線学会雑誌 45(2)：398-402, 1985
5. 斎藤眞理、日向浩、末山博男、北村達夫、酒井邦夫：全身照射の現状と問題点(シンポジウム「癌治療における multidisciplinary approach」)、新潟医学会雑誌 99(2)：72-77, 1985
6. 末山博男、小田純一、西原眞美子、斎藤眞理、酒井邦夫、他：肺小細胞癌の治療成績、臨床放射線 30(4)：461-467, 1985
7. 末山博男、酒井邦夫、北村達夫、斎藤眞理、西原眞美子、他：転移性脳腫瘍の放射線治療に関する検討、臨床放射線 30(5)：579-586, 1985
8. 関間美智子、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：肥大型心筋症における運動負荷心筋シンチグラフィの検討—再分布の臨床的意義、核医学 22(6)：831-836, 1985
9. 武田正之、小田野幾雄、酒井邦夫、他：131I-MIBG の集積を示した異所性褐色細胞腫の 1 例、臨床泌尿器科 39(7)：605-607, 1985

10. 岡本浩一郎、梅津尚男、小田純一、島田克己、酒井邦夫：肺癌進展度(T因子)のCTによる診断、画像診断 5(7)：653-657, 1985
11. 古寺邦夫、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：67Ga-citrate による腫瘍シンチグラフィで集積像を示した心臓線維腫の成人例、核医学 22(10)：1557-1562, 1985
12. 小田野幾雄、酒井邦夫、他：神経芽細胞腫の診断における I-131 meta-iodobenzylguanidine シンチグラフィの意義、核医学 22(11)：1685-1688, 1985
13. 木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：心プールシンチグラフィにおける両心室駆出率の精度およびその臨床利用について、新潟核医学懇話会記録集 2：41-45, 1985
14. 田村雄助、木村元政、小田野幾雄、酒井邦夫、他：運動負荷タリウム心筋シンチグラフィと冠動脈造影所見の対比—1年間の当院症例のまとめ—、新潟核医学懇話会記録集 2：46-49, 1985
15. 西原眞美子、小田純一、末山博男、斎藤眞理、北村達夫、酒井邦夫：プレオマイシン経口投与と放射線治療の併用が有効を示した進行食道癌の1例、診療手帖(87)：27-29, 1985
16. 藤田勝三、日向浩：原体照射および直交2門照射における立体的線量分布の観察、新潟大学医療技術短期大学部紀要 2(2)：18-21, 1985
17. 椎名真、他：急性腹症における画像診断の役割(シンポジウム「各科領域よりみた急性腹症」)、新潟医学会誌 99(7)：431-437, 1985
18. 武田正之、小田野幾雄、他：131I-MIBGの集積を示した異所性褐色細胞腫の1例、新潟核医学懇話会記録集 3：28-31, 1985
19. 小田野幾雄、木村元政、酒井邦夫、他：Ga-67citrateによるびまん性肺疾患の評価、新潟核医学懇話会記録集 3：40-44, 1985
20. 木村元政、山岸広明、小田野幾雄、酒井邦夫、他：心拍同期心プールのスキャンによる左室壁運動異常の評価、新潟核医学懇話会記録集 3：49-53, 1985
21. 井上俊彦、斎藤眞理、他：全国調査に基づく急性白血病の同種骨髄移植の成績改善に寄与した予後支配因子、癌の臨床 31(15)：1905-1908, 1985
22. 酒井邦夫：瀑状胃の形態とX線撮影上の特徴(質疑)、日本医事新報(3215)：146, 1985

——1984——

1. 島田克己：X線撮影による検診の意義と問題点(シンポジウム「肺癌をめぐる諸問題」)、新潟医学会誌 98(1)：5-9, 1984
2. 末山博男、北村達夫、斎藤眞理、椎名真、島田克己、西原眞美子、梅津尚男、小田純一、小田野幾雄、酒井邦夫、稲越英機、前田春男、斎藤明、高橋正康：肺癌の放射線療法および化学療法における問題点—放射線科の立場から(シンポジウム「肺癌をめぐる諸問題」)、新潟医学会雑誌 98(1)：17-23, 1984
3. 酒井邦夫、藤田勝三、日向浩、末山博男、佐藤洋子：放射線照射による細胞動態変化の flow cytometry による解析；培養細胞についての検討、日本医学放射線学会雑誌 44(3)：523-525, 1984
4. 椎名真、木村元政、酒井邦夫、他：大動脈撮影におけるイオパミドールの使用経験、薬理と治療 12(Suppl. 1)：171-175, 1984
5. 花野政晴、小田野幾雄、酒井邦夫、他：Indium-111-oxine 標識血小板シンチグラフィによる心腔内および血管内血栓の描出、血液と脈管 15(3)：285-289, 1984
6. 酒井邦夫、末山博男、斎藤眞理、北村達夫：悪性リンパ腫における重複癌、癌の臨床 30(12)：1524-1529, 1984
7. 小田野幾雄、酒井邦夫、他：Single Photon Emission Computed Tomography、薬の知識 35(10)：14-15, 1984
8. 酒井邦夫、日向浩、北村達夫、斎藤眞理、末山博男、他：非ホジキンリンパ腫における二次癌発生のリスク、臨床放射線 29(12)：1399-1401, 1984
9. 小田野幾雄、佐藤洋子、木村元政、酒井邦夫：骨シンチグラムにおける absent kidney sign、臨床放射線 29(12)：1453-1454, 1984
10. 小田野幾雄、西原眞美子、木村元政、酒井邦夫、他：シンチグラムによる肝癌の治療効果の判定、臨床放射線 29(13)：1535-1536, 1984
11. 津田隆志、小田野幾雄、木村元政、渡辺賢一、武田正之、酒井邦夫、他：Ga 集積を認めた心臓腫瘍の一例、新潟核医学懇話会記録集 1：42-45, 1984

----1983----

1. 酒井邦夫：悪性リンパ腫の病期判定における画像診断、画像診断 3(3)：216, 1983
2. 酒井邦夫：悪性リンパ腫の病期分類、画像診断 3(3)：217-218, 1983
3. 斎藤明、末山博男、酒井邦夫：悪性リンパ腫の病期判定における画像診断；胸部 X 線診断の意義、画像診断 3(3)：253-257, 1983
4. 末山博男、斎藤眞理、椎名真、北村達夫、酒井邦夫：悪性リンパ腫の病期判定における画像診断；頭頸部 X 線診断の意義、画像診断 3(3)：258-264, 1983
5. 小田野幾雄、日向浩、酒井邦夫：肝細胞癌の腫瘍倍加時間(tumor doubling time)について、ラジオアイソトープによる診療 16：5-7, 1983
6. 飯田洋子、小田野幾雄、酒井邦夫、秋田眞一：<sup>99m</sup>Tc-04-による唾液腺シンチグラフィで集積像を呈した Warthin 腫瘍の 1 例、核医学 20(2)：215-222, 1983
7. 小田野幾雄、日向浩、原敬治、酒井邦夫：肝細胞癌の早期発見に関する臨床的研究—特に腫瘍倍加時間より解析したスクリーニング理論、日本医学放射線学会雑誌 43(4)：582-588, 1983
8. 木村道夫、小田野幾雄、酒井邦夫、他：Indium-111-oxine 標識血小板シンチグラフィによる心腔内および血管内血栓の描出、Journal of Cardiology 13(3)：499-509, 1983
9. 俵谷幸蔵、小田野幾雄、他：サルコイドーシスにおける <sup>67</sup>Ga-citrate シンチグラフィの有用性、日本胸部臨床 42(5)：393-400, 1983
10. 小林英司、椎名真、他：高熱を主症状とした巨大肝海綿状血管腫—1 切除例と文献的考察—、日本消化器病学会誌 80(9)：1804-1808, 1983
11. 酒井邦夫：放射線被曝のリスク評価、新潟県放射線技師会報(34)：2-6, 1983
12. 酒井邦夫：Radiation Oncologist の必要性、サクラ X レイ写真研究 34(6)：3, 1983
13. 酒井邦夫：患者被曝と検査間隔(質疑)、日本医事新報(3080)：135, 1983
14. 酒井邦夫：放射線症(radiation sickness)について(質疑)、日本医事新報(3098)：152, 1983

----1982----

1. 小田野幾雄、酒井邦夫、末山博男：肝細胞癌の診断における Tc-<sup>99m</sup> コロイド肝 RI アンギオグラフィの臨床的検討、核医学 19(2)：255-261, 1982
2. 酒井邦夫、稲越英機、北村達夫、椎名真、斎藤眞理、他：Pancoast 型肺癌の放射線治療、臨床放射線 27(7)：727-730, 1982
3. 高橋正康、酒井邦夫：呼吸困難；レントゲンの診断の実際、Medical Companion 2(8)：996-999, 1982
4. 酒井邦夫：放射線障害と防護、Isotope News(332)：14-15, 1982
5. 酒井邦夫：CT と放射線治療、新潟県放射線技師会報(33)：2-6, 1982
6. 橋本省三、酒井邦夫、他：放射線治療の利益と損失とに関する研究、昭和 56 年度厚生省がん研究報告集(下)：707-716, 1982
7. 飯田洋子、秋田眞一、小田野幾雄、酒井邦夫、他：読影講座—これをどうよむか(耳下腺 Warthin 腫瘍例)、画像診断 2(10)：910-913, 1982
8. 本山梯一、前田春男、他：甲状腺のいわゆる衝突腫瘍の 1 例—扁平上皮癌と腺癌の同時発生—、癌の臨床 28(14)：1646-1650, 1982

----1981----

1. 酒井邦夫、日向浩、北村達夫、椎名真、稲越英機、他：放射線治療後の発がんに関する全国調査成績、日本医学放射線学会雑誌 41(1)：24-32, 1981
2. 酒井邦夫、日向浩、北村達夫、椎名真、稲越英機、他：放射線治療と発癌、臨床放射線 26(8)：865-869, 1981
3. 浜田政彦、酒井邦夫、他：良性疾患照射により生じた悪性新生物について、臨床放射線 26(6)：663-670, 1981
4. 新妻伸二、原敬治、前田春男、他：食道潰瘍—その原因と X 線所見による分類—、臨床放射線 26(1)：101-107, 1981
5. 土田正、伊藤寿介、他：脳内血腫を伴った deep sylvian meningioma の 1 例、脳神経外科 9(3)：395-400, 1981
6. 石井鎌二、伊藤寿介、他：脳血管撮影上、過度な逆行性造影を示した脳卒中症例における頭蓋内血行動態、臨床放射線 26(4)：497-503, 1981
7. 原敬治：画像診断法—腹部臓器診断に対する CT の位置、新潟県放射線技師会報(32)：2-6, 1981
8. 山下久雄、酒井邦夫、他：放射線被曝と発がんに関する総合的研究、昭和 55 年度厚生省がん研究報告集(下)：629-638, 1981
9. 原敬治：CT 診断の利点と問題点(シンポジウム「画像診断における CT および超音波の寄与」)新潟医学会誌 95(9)：590-592, 1981

10. 椎名真：超音波診断の利点と問題点—腹部超音波断層法を中心に—(シンポジウム「画像診断におけるCTおよび超音波の寄与」)新潟医学会誌 95(9) : 592-595, 1981
11. 高野邦夫、小田野幾雄、他：201TI シンチグラフィで描画された上皮小体腺腫の1治験例、臨床外科 36(11) : 1783-1787, 1981
12. 関間美智子、原敬治、他：当初結腸癌と誤診した腸結核、結核性腹膜炎の一例、新潟医学会誌 95(12) : 788-793, 1981
13. 酒井邦夫：X線透視検査における術者被曝(質疑)、日本医事新報 (2961) : 129, 1981
14. 酒井邦夫：胸部X線検査における患者被曝(質疑)、日本医事新報 (3002) : 144, 1981

---1980---

1. 酒井邦夫：疾病の早期発見と医療被曝、生活教育 24(2) : 1-10, 1980
2. 酒井邦夫：妊娠とX線検査、新潟県医師会報(359) : 2-5, 1980
3. 酒井邦夫：X線テレビ近接操作時の術者被曝(質疑)、日本医事新報(2938) : 133, 1980.
4. 酒井邦夫：妊婦とX線検査(質疑)、日本医事新報 (2956) : 175, 1980
5. 伊藤寿介、他：脳血管撮影における olfactory vein の意義、臨床放射線 25(3) : 349-355, 1980
6. 伊藤寿介、他：Pontine Glioma のCT所見、CT研究 2(2) : 221-225, 1980
7. 伊藤寿介、他：石灰化像と骨破壊を伴った小児の脳幹部グリオーマの1例、小児の脳神経 5(2) : 85-90, 1980
8. 内山春雄、伊藤寿介、他：人工栓塞法(artificial embolization)の経験—巨大なる嗅神経芽細胞腫の1症例—、耳鼻咽喉科 52(6) : 441-446, 1980
9. 酒井邦夫：放射線の妊娠への影響、新潟県放射線技師会報(31) : 3-9, 1980
10. 山田達哉、原敬治、他：胃がん高危険群に関する研究—胃集陰における対象集約—、昭和54年度厚生省がん研究報告集(上) : 38-52, 1980
11. 山下久雄、酒井邦夫、他：放射線被曝と発がんに関する総合的研究、昭和54年度厚生省がん研究報告集(下) : 791-801, 1980
12. 山本賢、他：ECGゲート法を用いた心機能の評価(第1報)経時的心プールおよび心筋イメージについて、新潟医学会誌 94(11) : 763-771, 1980
13. 伊藤寿介、他：第三脳室脈絡組織内に発育した髄膜腫のCTおよび血管造影所見 Neuro Med Chir 20(11) : 1081-1094, 1980
14. 田中隆一、伊藤寿介、他：松果体部腫瘍のCT scan による鑑別診断—治療方針と関連して—、Neuro Med Chir 20(11) : 1103-1114, 1980
15. 伊藤寿介、他：外頸動脈領域における Embolization の経験、脳神経外科 8(12) : 1145-1153, 1980
16. 小田野幾雄：シンチグラフィにおける画像解析(シンポジウム「医学における画像解析装置」)、新潟医学会誌 94(12) : 803-809, 1980

---1979---

1. 外山孚、伊藤寿介、他：Von Recklinghausen 病に合併した両側聴神経腫瘍の1家系、脳神経外科 7(1) : 85-89, 1979
2. 酒井邦夫：胃集陰の効率化をめぐる二三の問題、新潟医学会雑誌 93(2) : 85-89, 1979
3. 酒井邦夫、椎名真、日向浩、北村達夫、斎藤明、小田野幾雄、前田春男、高橋正康、黒川久枝、稲越英機、原敬治、樋口義健：胃集陰における腹臥位粘膜像の診断価値、臨床放射線 24(4) : 511-515, 1979
4. 伊藤寿介：第3脳室近傍腫瘍の神経放射線診断—脳血管撮影を中心に—4 第3脳室後半部に発育する腫瘍、Neuro Med Chir (Tokyo) 19(2) : 209-218, 1979
5. 伊藤寿介：第3脳室近傍腫瘍の神経放射線診断—脳血管撮影を中心に—5 第3脳室上部に発育する腫瘍、Neuro Med Chir (Tokyo) 19(3) : 303-314, 1979
6. 小田野幾雄：シンチグラフィ(シンポジウム「生体映像法」)、新潟医学会誌 93(3) : 178-180, 1979
7. 酒井邦夫：新潟県における胃集陰の現状と問題点、新潟県放射線技師会報(30) : 3-7, 1979
8. 山下久雄、酒井邦夫、他：がん放射線治療の副次現象に関する研究、昭和53年度厚生省がん研究報告集(上) : 177-194, 1979
9. 山田達哉、酒井邦夫、他：胃がん高危険群に関する研究—胃集陰における対象集約—、昭和53年度厚生省がん研究報告集(上) : 249-265, 1979
10. 小田野幾雄：肺癌術後照射の有意性—決定理論による解析—(シンポジウム「肺癌」)、新潟医学会誌 93(6) : 406-409, 1979
11. 山崎岐男、椎名真、他：Caerulein による小腸迅速充盈法、臨床放射線 24(6) : 693-698, 1979
12. 稲越英機：放射線科の立場から(シンポジウム「悪性リンパ腫とその周辺」)、新潟医学会誌 93(7) : 482-484, 1979

13. 小田野幾雄：肺癌術後予防照射の必要性の検討(第一報)不確実性の下における意志決定をどうするか、日本医放会誌 39(8)：840-847, 1979
14. 小田野幾雄：肺癌術後予防照射の必要性の検討(第二報)線形判別関数による解析、日本医放会誌 39(8)：848-852, 1979
15. 酒井邦夫：医療被曝軽減の技術、日本医事新報(2894)：133, 1979
16. 伊藤寿介、他：内頸動脈起源の前下小脳動脈、脳と神経 31(10)：999-1004, 1979
17. 日向浩：CT検査の原理と患者被曝(シンポジウム「CTの臨床応用」)、新潟医学会誌 93(10)：716-719, 1979
18. 伊藤寿介：頭蓋内疾患のCTによる診断(シンポジウム「CTの臨床応用」)、新潟医学会誌 93(10)：719-724, 1979
19. 斎藤明：胸部疾患のCT(シンポジウム「CTの臨床応用」)、新潟医学会誌 93(10)：725-726, 1979
20. 亀井清光、佐藤一明、栢森亮、他：201TIを用いた心筋シンチグラフィの臨床的検討、新潟医学会誌 93(10)：756-762, 1979
21. 栢森亮、他：N末端抗血清を用いた Parathyroid Hormone の Radioimmunoassay、日本内分泌学会誌 55(11)：1372-1383, 1979
22. 酒井邦夫：医療被曝の軽減策、原子力工業 25(11)：108-112, 1979

---1978---

1. 黒川久枝：大腸の腺腫と早期癌に関する X 線学的研究、新潟医学会誌 92(1)：30-41, 1978
2. 佐藤一明：甲状腺癌の臨床的研究、新潟医学会誌 92(1)：42-56, 1978
3. 伊藤寿介、他：第三脳室近傍の病変とコンピューター断層撮影-脳腫瘍例を中心に-、神経研究の進歩 22(2)：234-242, 1978
4. 小田野幾雄、酒井邦夫、佐藤俊郎、斎藤明、他：99mTc-Phytate 肝シンチグラムにおける“Hot Spot”-とくに、上大静脈症候群との関係について-、Radioisotope 27(4)：188-190, 1978
5. 栢森亮、佐藤静山、酒井邦夫、北島隆、他：看護婦の放射線防護に関する意識調査、新潟医学会雑誌 92(5)：320-325, 1978
6. 酒井邦夫、椎名真：下越地区における胃集団検診成績(第2報)昭和51年次検診成績の分析、新潟医学会雑誌 92(6)：395-398, 1978
7. 酒井邦夫：ICRPの新しい考え方-新基本勧告(Publ. 26)の紹介-、新潟県放射線技師会報 29：1-4, 1978
8. 酒井邦夫、斎藤明：放射線障害による再生不良性貧血、日本臨床 36(7)：2746-2749, 1978
9. 山下久雄、酒井邦夫、他：がん放射線診療の副次現象に関する研究、昭和52年度厚生省がん研究報告集(上)：365-378, 1978
10. 山田達哉、酒井邦夫、他：胃がん高危険群に関する研究-胃集検における対象集約-、昭和52年度厚生省がん研究報告集(下)：435-450, 1978
11. 伊藤寿介、他：Convexity cavernous hemangiomaの1例-脳血管撮影およびCT所見-、脳と神経 30(7)：737-747, 1978
12. 飯沼武、北島隆、他：胃集検の利益と損失；II 遺伝的障害と費用、日本医放会誌 38(7)：625-632, 1978
13. 伊藤寿介：第3脳室近傍損傷の神経放射線診断-脳血管撮影を中心に-1 第3脳室近傍のX線解剖(1) Neuro Med Chir (Tokyo) 18(5)：421-433, 1978
14. 山崎岐男、斎藤明、佐藤俊郎、他：Idiopathic intestinal pseudo-obstructionについて、臨床放射線 23(8)：869-873, 1978
15. 大崎直樹、稲越英機、他：病初 lymphoepithelioid cellular lymphoma の像を呈した細網肉腫症の1例、日本網内系学会誌 18(3)：179-188, 1978
16. 伊藤寿介：第3脳室近傍腫瘍の神経放射線診断-脳血管撮影を中心に-1 第3脳室近傍のX線解剖(2) Neuro Med Chir (Tokyo) 18(6)：523-529, 1978
17. 伊藤寿介：第3脳室近傍腫瘍の神経放射線診断-脳血管撮影を中心に-2 第3脳室内および主に第3脳室前半部に発育する腫瘍(1) Neuro Med Chir (Tokyo) 18(7)：595-608, 1978
18. 山崎岐男、原敬治、他：胃の vanishing tumor について(第2報)、臨床放射線 23(9)：919-924, 1978
19. 伊藤寿介：第3脳室近傍腫瘍の神経放射線診断-脳血管撮影を中心に-2 第3脳室内および主に第3脳室前半部に発育する腫瘍(2) Neuro Med Chir (Tokyo) 18(9)：681-691, 1978
20. 伊藤寿介：第3脳室近傍腫瘍の神経放射線診断-脳血管撮影を中心に-3 主に第3脳室の側方に発育する腫瘍(1) Neuro Med Chir (Tokyo) 18(10)：783-790, 1978
21. 伊藤寿介：第3脳室近傍腫瘍の神経放射線診断-脳血管撮影を中心に-3 主に第3脳室の側方に発育する腫瘍(2) Neuro Med Chir (Tokyo) 18(11)：873-884, 1978
22. 小林啓志、伊藤寿介、他：播種性皮膚血管腫、頭蓋骨血管腫を伴った先天性テント上硬膜動脈瘻の1例、脳と発達 10(5)：403-408, 1978

23. 栗田勇、伊藤寿介、他：巨大脳動脈瘤のCT像、CT研究 1(2)：229-238, 1978
24. 山崎岐男、佐藤静山、黒川茂樹、高橋正康：十二指腸癌症例と鑑別診断、臨床放射線 23(5)：529-534, 1978